平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女　子　　平成27年7月30日　15:00　開始

２回戦　　山城総合運動公園体育館　G

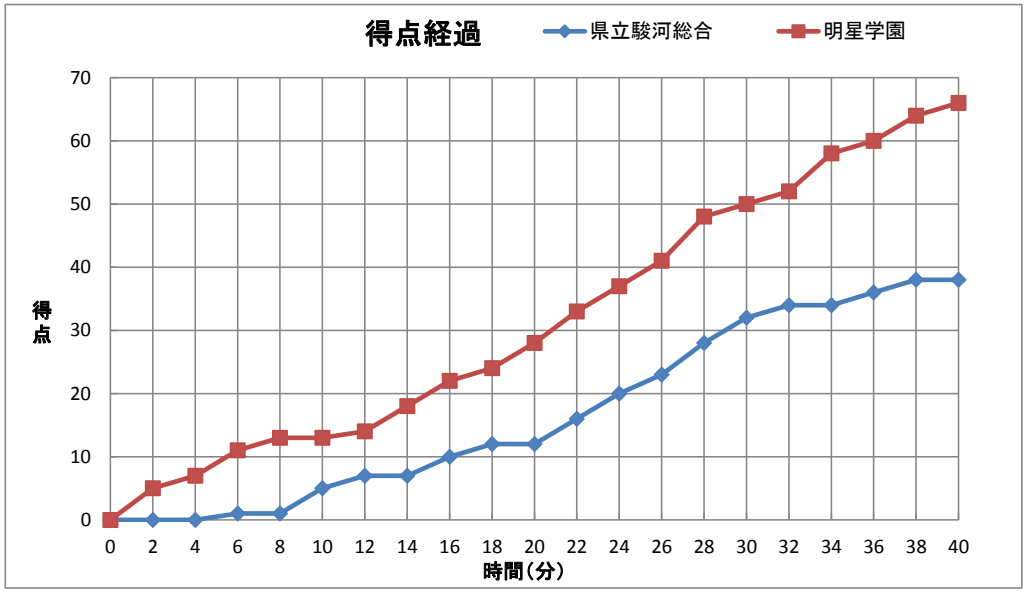
県立駿河総合（静岡県）	38	5 / 7 / 20 / 6	1st / 2nd / 3rd / 4th	13 / 15 / 22 / 16	66	◎ 明星学園（東京都）

番号	氏　名	得点	3P	2P	FT	反則
＊ 4	浜辺　詞織	11	1	4	0	2
＊ 5	瀧本　菜々子	0	0	0	0	0
6	池ヶ谷　優香	9	0	2	5	3
＊ 7	大串　梨沙	2	0	1	0	3
＊ 8	西村　茉優	9	1	3	0	0
9	長島　アンソニー真弥	5	0	2	1	0
10	曲渕　栞菜	－	－	－	－	－
＊ 11	加藤　陽	2	0	1	0	1
12	田中　凛	0	0	0	0	1
13	堀内　はるか	－	－	－	－	－
14	西尾　優香	－	－	－	－	－
15	小山内　パメラウーゴ	－	－	－	－	－
コーチ	青木　良浩					0
Aコーチ	青島　沙季					
合　計		38	2	13	6	10

番号	氏　名	得点	3P	2P	FT	反則
＊ 4	中田　珠未	8	0	4	0	0
＊ 5	伊藤　彩香	4	0	2	0	1
＊ 6	二渡　琴音	6	0	3	0	3
＊ 7	小笠原　美奈	12	0	5	2	3
8	矢野　祐未	4	0	2	0	3
9	阪口　和香子	0	0	0	0	0
10	西垂水　美桜	0	0	0	0	0
11	寺島　里佳	0	0	0	0	0
12	石川　夏帆	0	0	0	0	1
13	田川　玲	0	0	0	0	0
＊ 14	オコエ　桃仁花	28	0	13	2	1
15	李　人竹	4	0	2	0	0
コーチ	椎名　眞一					0
Aコーチ	髙橋　三絵					
合　計		66	0	31	4	12

主審：　柏原　琢磨

副審：　橘　貴志



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	7:09	16:21	26:29	:	:	:	:	:	:
TeamB	8:27	:	:	:	:	:	:	:	:

〔 戦　評 〕

創部2年目にして2年連続の出場を果たした駿河総合と、5年連続41回目出場4回の準優勝経験をもつ名門明星学園との2回戦。明星学園ハーフコートマンツーマン、駿河総合オールコートマンツーマンで試合開始。アンダーカテゴリーの日本代表を2人も有する明星学園が序盤からペースを掴む。駿河総合は＃4が3P、＃7がインサイドで踏ん張りを見せるもノーゴールの時間帯が続く。残り4分駿河総合＃9がドライブでねじ込みフリースローをもらうとようやく1点を返す。明星学園の守りが固くなかなか突破することができずに13対5明星学園リードで第1P終了。

第2P、明星学園＃4＃14のインサイドを中心に着実に点を重ね明星ペースが続く。駿河総合も＃4＃9のドライブ、＃6＃7のインサイドで盛り返そうとするも、180cmを超える2枚の壁はやはり高い。なんとかオフェンスリバウンドに食らいつきフリースローなどで少しずつ点を返していくが、28対12明星学園リードで前半を折り返す。

後半、明星学園＃10が怪我でコートを去ると、駿河総合は＃8のドライブからディフェンスを崩すと徐々に息を吹き返し＃7＃11のインサイド、＃8の3Pで得点を重ねる。しかし明星学園は＃7＃14がインサイドで活躍しその存在感を見せつけ、50対32と大きくリード。

第4P、駿河総合は遠めの3Pとスピードを生かしたドライブで果敢にシュートを狙っていく。ディフェンスでも踏ん張りを見せるが、明星学園＃5＃6がドライブで割っていきインサイドとの連携プレーで突き放していく形となった。明星学園が66対38で勝利しベスト16に進出しが、攻守両面で走ることをモットーとし、最後まであきらめずに戦った駿河総合の選手も素晴らしかった。

戦評：　中川　彩　　記録：　東宇治高校